

日立の気象 (103)

日立市における気象観測(4) ～平成時代の気象観測～

現在市内には天気相談所(総合観測所)をはじめとして、南部支所(降水量・気温・風向風速)、諏訪スポーツ広場(降水量)、本山あかさわ山荘(降水量・気温)、西部支所(降水量)、北部消防署(降水量)等6ヶ所の気象観測所があります。

地域や地形を考慮して配置していますが、新たに平成20年3月までに、十王地域へ降水量観測所を設置する計画です。

市役所内にある天気相談所では、総合観測所として気圧・気温・湿度・風向・風速・降水量・積雪の深さ・日照時間・日射量・天気・雲量・雲形・視程・大気現象などの項目を「気象業務法」に定められた方法により観測を行っています。

観測されたデータは市の防災対策に活用され、また広く一般にもホームページ上で公開し、年間のデータは「気象年報」(CD-ROM)としてまとめ、関係機関や市民の利用に供しています。



現在の神峰山と日鉱金属の煙突

4回にわたり日立市の気象観測の歴史を掲載してきました。その原点は明治43年の神峰山観測所創設にあります。

明治・大正・昭和と標高598mの山頂で気象観測を続けてきた人、支えてきた人の意志が今に引き継がれ、天気相談所も昭和27年6月の発足以来55年間、一日も休むことなく気象観測と予報業務を続けています。

【9月の気象暦と過去の観測記録】

本格的な台風シーズンの到来です。

ことし7月には大型で強い台風第4号が九州に上陸し、関東地方の南海上を通過しました。日立地方でも総降水量200ミリを超える大雨となりました。

台風が持っているエネルギーは膨大で、平年の一ヶ月分の降水量を一日で降らせてしまうこともあります。

▽ 1日「二百十日」(立春から210日目)
「関東大震災」(大正12年)

▽ 8日「白露」(二十四節気)

▽ 15・16日「カスリーン台風」(昭和22年:宮田川が氾濫し日立鉱山社宅等流失)

▽ 19日「日降水量順位第4位 212ミリ」
(平成3年:台風第18号)

▽ 23日「秋分」(二十四節気)

▽ 25日「仲秋の名月」(十五夜)

日立の気候表

	8月	9月	10月
平均気温	24.8℃	21.6℃	16.6℃
降水量	148.2mm	197.9mm	159.2mm
日照時間	181.3時間	129.8時間	152.5時間

平年値(1971~2000年)

<9月の気温・降水量予報(関東甲信地方)>

天気は数日の周期で変わり。気温は平年並か高い確率が40%。降水量は平年並の確率が40%と予想されています。



※日立市の天気予報は、天気相談所ホームページで毎日発表しています。

<http://www.jsdi.or.jp/~htenoso>

行政放送(ケーブルテレビ5ch)でも定期的に天気予報をお知らせしています。

電話での問合せは、直通電話22-5520
IP電話050-5528-5066へどうぞ。